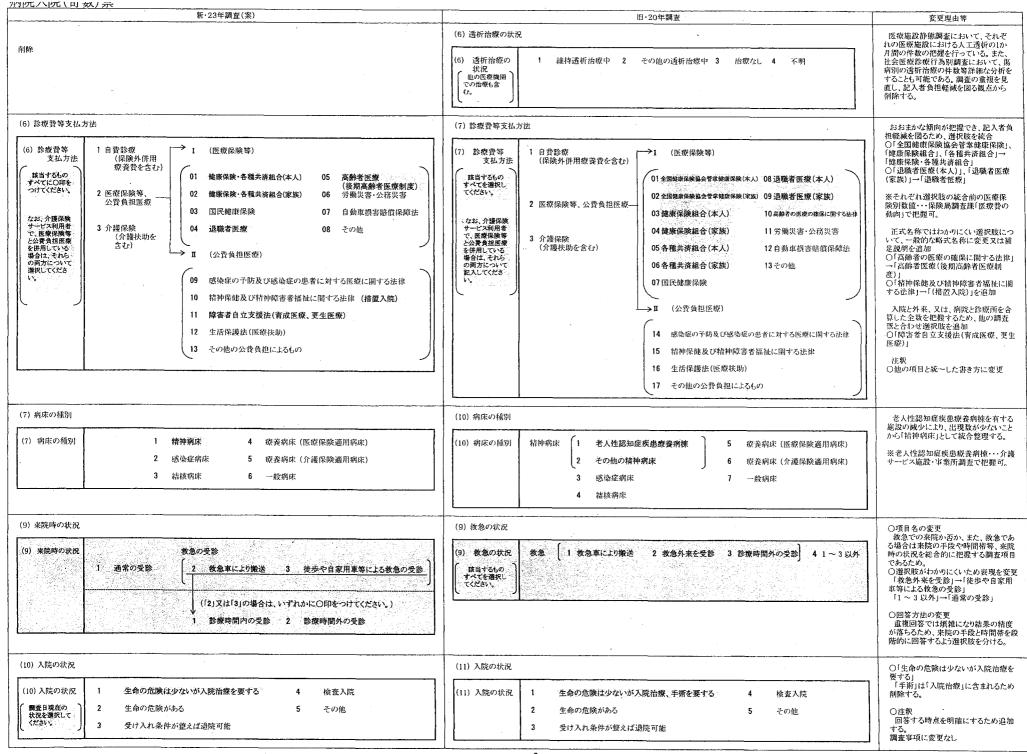
## 平成23年に実施する患者調査 新旧対照表 (案)

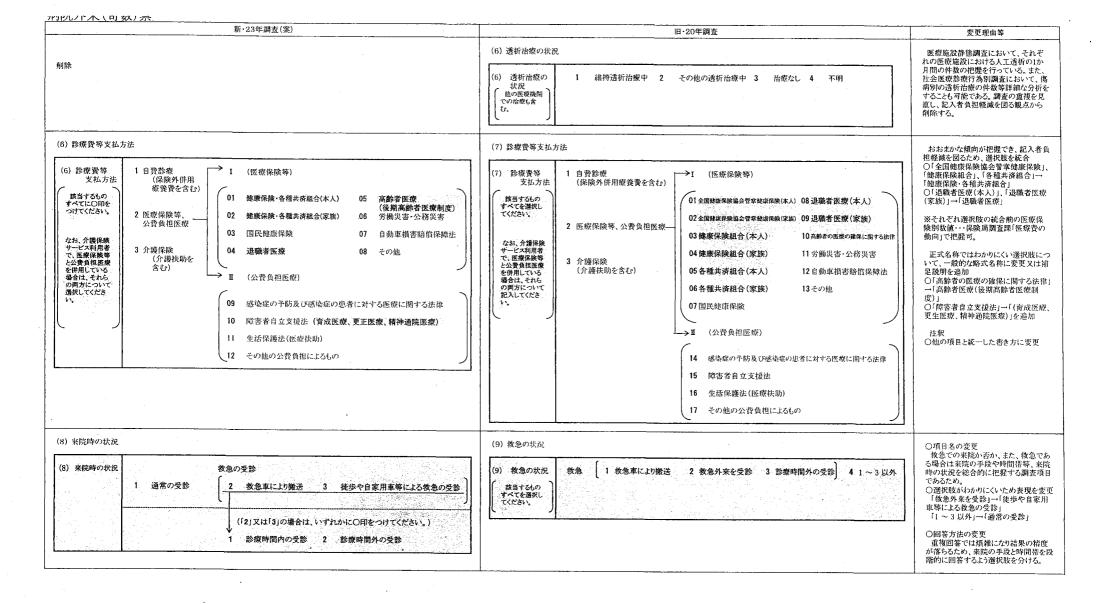
- •病院入院(奇数)票
- •病院外来(奇数)票
- •病院(偶数)票
- 一般診療所票
- 歯科診療所票
- 病院退院票
- 一般診療所退院票

厚生労働省

新·23年調查(案)	旧·20年調査	変更理由等
平成23年10月18日~20日(指定された1日)	平成20年10月21日~23日(指定された1日)	調査実施日の変更
(3) 患者の住所	(3) 患者の住所	○記入しやすいように選択肢の表記を
3) 患者の住所  1 当院と同じ市区町村内  2 当院とは別の市区町村→ 都道 市 区 町村村  最者の住所が東京都区部又は政令指定都市(※)で、貴院の所在地と区が異なる場合は、「2」を○で囲み、区の名称まで記入してください。 (※)政令指定都市は、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相様原市、新潟市、新潟市、新潟市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市をいいます。	(3) 息者の住所 1 病院と同じ市区町村内 2 病院とは別の市区町村 → 「お道」 「市 「	変更。 ○回答の結度向上のため、注釈を追加 する。 調査事項に変更なし
1) 入院年月日	(4) 入院年月日等	○項目名の変更
4) <b>入院年月日</b>	(4) 入院年月日等	○過去の入院の有無の削除 再入院の状況について、患者の動向 (入院前の場所、在院期間等)と併せて 地報した方が、地域特性に応じた医療 提供体制の整備等、医療行政への活別
	及」の「(1)主係 病名」に記載される疾患をいいます。 過去の入院の有無 主傷病に関連した貴医療施設に おける入院であって、退院日が上 記入院年月日から遡って過去30 日以内の場合に限る、(3B院年が 平成の場合のみ。)	により有効であるため追院県へ追加し 記入者負担軽減のため人院県からは背除する。
(5) 受嫁の状況	(5) 受症の状況	○肝疾患の状況の追加 肝炎対策基本法(平成22年1月施
(5) 受療の状況         1 傷病の診断・治療 2 正常分娩 (単胎自然分娩)         3 正常妊娠・産じょくの管理           4 健康者に対する検査、健康診断(査)・管理 5 その他の保健サービス では、最前の理解:20世界 (株) (20世界)         1 (大) (20世界)	(5) 受張の状況     1 傷病の診断・治療 2 正常分娩 (単胎自然分娩)     3 正常妊娠・産じょくの管理       (5) 受張の状況     4 健康者に対する検査、健康診断 (査)・管理 5 その他の保健サービス (は、発酵の理) (所会時代・副内 (所会) (所会) (所会) (所会) (所会) (所会) (所会) (所会)	行)に基づき、肝炎の総合対策を推進していく上で原因ウイルス別の患者数の対 握は重要であるが、現行の主傷病名の みでは把握できていないため。
(例: 新原任名): 新原任名: 新原任名: 新原任第一日中 新原任第一日中 大正で表記に記 人正で表記に記 日 B型所奏ウイルス(HBV)陽性	(附条前原体的   一)	○外傷の原因 回答方法が異なると煩雑になり回答。 情度が落ちるため、他の調査項目と合 わせた回答方法へ変更。調査事項に変 更なし。
15 精神疾患」とは、以下の疾患をいます。   2	#た. 私数の形 別に配している 別を出している 別を出している 別を出している 別を出している 別をは、調節的名 (該当するものすべてに〇印をつけてください。)   01 副傷病なし     (2) 副傷病なし     (2) 副傷病なし     (3) 副傷病なし     (2) 副傷病なし     (3) 国傷病なし   (4) 国際による精神及い   (5) 護尿病(性) 網腺症   (4) 国際による精神及い   (5) 護尿病(性) 網腺症   (4) 国際による精神及い   (5) 護尿病(性) 網腺症   (4) 国際による精神及い   (5) 護尿病(性) 網解症   (4) 国際による活神及い   (5) 護尿病(性) 網解症   (6) ①本部・本部・   (6) ①本部・本部・   (6) ①本部・本部・   (6) ①本部・本部・   (6) ①本部・本部・   (6) ①本部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部	○副傷病名 「糖尿病(性) 網際症」―「糖尿病(性) 服合併症(主傷病名の分類に統一) 「糖尿病(性)足病変」(出現数が少か いため削除) 「03~05以外の合併症を伴う糖尿病 (「糖尿病(性)足病変」を削除したため 選択肢番号を変更)
2) 副傷病名(該当するものすべてに〇印をつけてください。)   12   円窓性末情動脈疾患	大興底、統合大調 定型與許及び安 地性與常、気分 (感情)除害、神歴 経性療害、てんか ん、その他の精神 及い行動の障害 ないます。(たた し 「精神運費は除亡 をするいます。(たた し 「精神運費は除亡 をするいます。(たた し 「精神運費は除亡 をするいます。(たた し 「精神運費は除亡 をするいます。(たた)	○  ○  ○

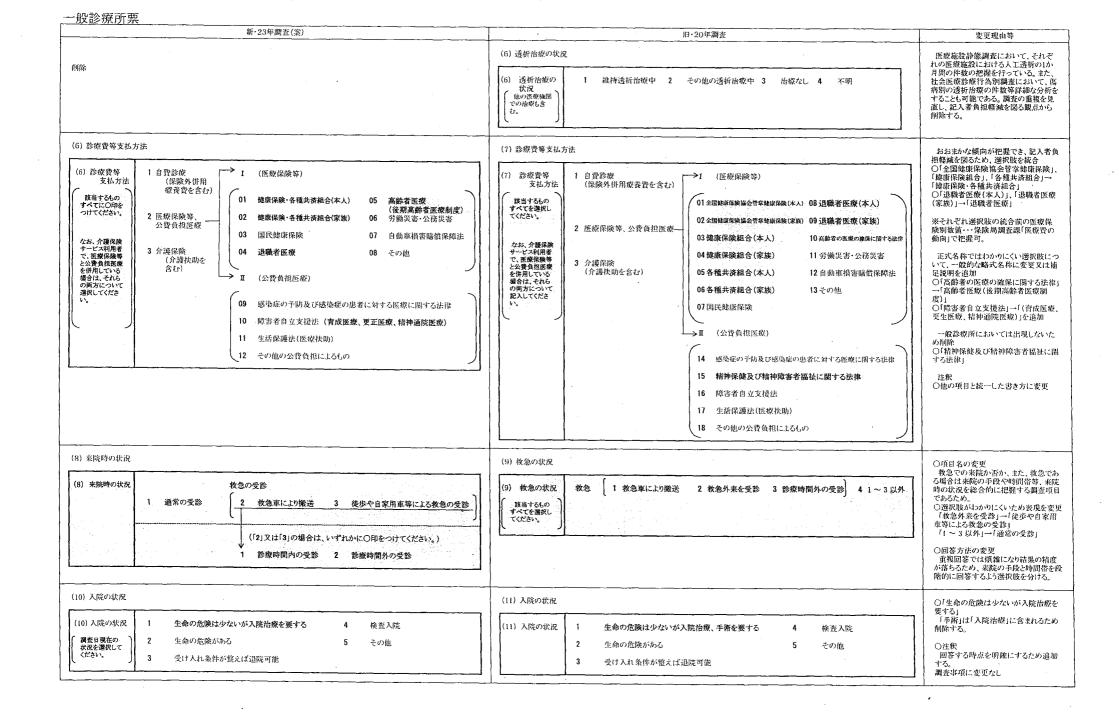


<ul> <li>・成20年10月21日~23日(指定された1日)</li> <li>患者の住所</li> <li>患者の住所</li> <li>1 病院と同じ都道府県内</li> <li>2 病院とは別の都道府県</li> <li>新道府県</li> <li>外来の種別</li> </ul>	調査実施日の変更 記入しやすいように選択肢の表記を変 調査事項に変更なし
患者の住所 1 病院と同じ都道府県内 ※高道府県 コード 2 病院とは別の都道府県 部道 府県	記入しやすいように選択肢の表記を変 調査事項に変更なし
思考の住所 1 病院と同じ都道府県内 2 病院とは別の都道府県 部道 府県	神風デバーを入する
外来の種別	
	調査時期に合わせ「平成23年」へ変更
外来の種別     初     1     通院       診     2     往診	調査事項に変更なし。
3 通院	
受嫉の状況	○肝疾患の状況の追加 肝炎対策基本法(平成22年1月版
受掠の状況         1 (悠病の診断・治療 2 正常分娩(単胎自然分娩)         3 正常妊娠・産じょくの管理           (4. 免傷の智性・病に体)         4 健康省に対する検査、健康診断(査)・管理 5 予防接種 6 その他の保健サービス           (4. 免傷の智性・病に体)         (4. 免傷の智能・病の機動・病に体)           がたの(他) (中間)         がたり、はないの (中毒を含む)           (2) 高(協病名)         (該当するものすべてに〇印をつけてください。)           (2) 高(協病名)         (該当するものすべてに〇印をつけてください。)           (2) 高(協病名)         (該当するものすべてに〇印をつけてください。)           (2) 虚原病(合) ((は) 野症 ((は) 野疾患 ((な) ((な) ((は) 野疾患 (((は) ((は) ((は) ((は) ((は) ((は) ((は) ((	行)に基づき、肝炎の総合対策を推進ていく上で原因ウイルス別の患者数の限は重要であるが、現行の主傷病名。みでは把握できていないため。  〇外傷の原因 回答方法が異なると煩難になり回答 精度が落ちるため、他の調査項目と合わせた回答方法へ変更。調査事項に更なし。 ○耐傷病名 「糖尿病(性) 納膜症」一「糖尿病(性) 般情疾病(性) 免病変」(出現数が少い「糖尿病(性) 足病変」(出現数が少い「180年(180年) と病変」(情限など) 「180年(180年) と病変」を削除したた。遊板股番号を変更) ○注釈 制傷病については設問と重複するが近釈を削除。 「精神疾患」について、簡潔に整理。
し しの何がの何でし ましてのもし しょうあしのほどけのけってして	下



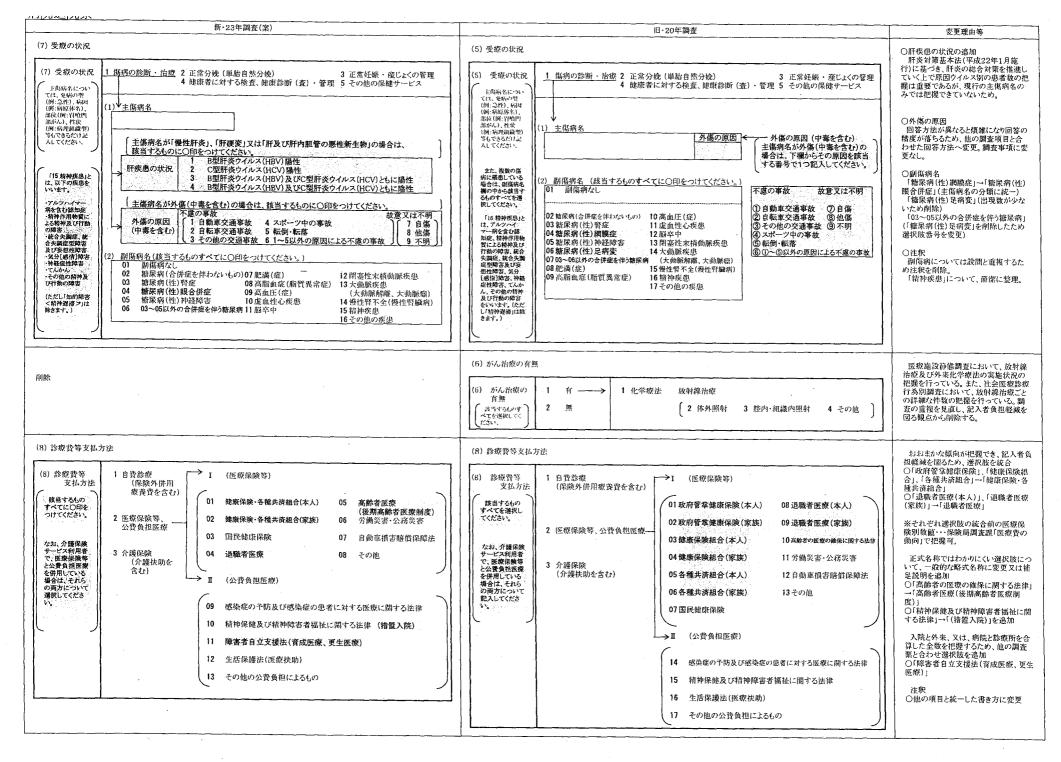
<u> </u>		
新・23年調査(案)	旧・20年調査	変更理由等
平成23年10月18日~20日(指定された1日)	平成20年10月21日~23日(指定された1日)	調査実施日の変更

N   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
新·23年調査(案)	旧・20年調査	変更理由等
平成23年10月18・19・21日(指定された1日)	平成20年10月21・22・24日(指定された1日)	調査実施日の変更
(3) 患者の住所	(3) 患者の住所	記入しやすいように選択肢の表記を変更。 調査事項に変更なし
(3) 患者の住所 1 当院と同じ都道府県内 2 当院とは別の都道府県 → 都道 府県	(3) 患者の住所 1 診療所と同じ都道府県内 2 診療所とは別の都道府県 → 都道 府県	
(4) 入院・外来の種別等	(4) 入院・外来の種別等	○過去の入院の有無の削除 再入院の状況について、患者の動向
(4) 入院・外来の 種別等	(4) 入院・外来の 種別等 主傷病とは、 (5)受療の状 見のf(1)主傷 病名」に記載される疾患といい。 ます。	所入院の状況についます。 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に
(5) 受療の状況	か     1     通院       タ     2     住診       P     3     通院     5     訪問診療       東     4     往診     6     医師以外の訪問	
(5) 受療の状況 1 傷病の診断・治療 2 正常分娩 (単胎自然分娩) 3 正常妊娠・産じょくの管理 4 健康者に対する検査、健康診断 (重)・管理 5 予防接種 6 その他の保健サービス (は、食粉の型 (岬・公村・ 利用 (1)・ 主傷病名 (1)・ (1)・ 主傷病名	(5) 受療の状況  (5) 受療の状況  (5) 受療の状況  (5) 受療の状況  (6) とのでは、 (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	○肝疾患の状況の追加 肝疾対策基本法(平成22年1月施 行)に基づき、肝炎の総合対策を推進していく上で原因ウイルス別の患者数の把 握は重要であるが、現行の主傷病名の みでは把握できていないため。 ○外傷の原因 回答方法が異なると頃難になり回答の 精度が落ちるため、他の調査項目と合
(明・新州明識代) 別くてきたい。	(1) 主傷病名 (1) 主傷病名 (1) 主傷病名 (1) 主傷病名 (1) 主傷病名 (1) 生傷病名 (	わせた回答方法へ変更。調査事項に変更なし。 ○副協病名 「糖尿病(性) 網膜症」・「糖尿病(性) 限合併症」(主傷病名の分類に統一) 「糖尿病(性) 足病変」(出現数が少ないため削除) 「03~05以外の合併症を伴う糖尿病」 (「糖尿病(性) 足病変」を削除したため 選択肢番号を変更) ○注釈 副協病については設問と重複するため注釈を削除。 「精神疾患」について、確潔に整理。



不成の呼ばりにいて、対して、	四红砂原门示		
1 日本の日本   1	新·23年調查 (案)	旧·20年調查	変更理由等
(3) 免費の比所 2 当時上待9の報道有益 → 関連	平成23年10月18・19・21日(指定された1日)	平成20年10月21・22・24日(指定された1日)	調査実施日の変更
(3) 密客の住所 1 当然に対すの極端性素	(3) 患者の住所	(3) 患者の住所	記入しやすいように選択肢の表記を変更。 調査事項に変更なし
(4) 外来の極効 (4) 外来の極効 (5) 2 過防管療 (5) 3 過度 (5) 2 過防管療 (5) 2 過防管療 (5) 2 過防管療 (5) 2 過防管療 (5) 3 過度 (5) 2	2 当院とは別の都道府県 → 都道	(3) 患者の住所 1 診療所と同じ都道府県内 コード 2 診療所とは別の都道府県 → 都道	
(4) 外来の値型	(4) 外来の種別	(4) 外來の種別	調査時期に合わせ「平成23年」へ変更。
(6) 多確費等支払方法  (6) 多確費等 支払方法  (6) 多確費等支払方法  (6) 多確費等 支払方法  (6) 多確費等支払方法  (6) 多確費等支払方法  (6) 多確費等 支払方法  (6) 多さを費別を対しまする。 (6) 多さを表しまする。 (6) のでのでは、はないのでは、はないのでしまする。 (6) のでのでは、はないのでは、はないのでしまする。 (6) のでのでは、はないのでしまする。 (6) のでのでは、はないのでしまする。 (6) のでのでしまする			四川山が高)に交叉なし。
(6) 診療費等 支払方法 接属するもの すべてにご用をついてくたさい。 2 医療保険等 (保験外併用 療養食を含む) 2 医療保険等 (保験外併用 療養食者に変む) 3 介護保験 (分養大助店 会社) 1 の高齢で成の過程に関する法律を発展してくどき、(金) 2 医療保険等 (保験) 1 1 分類保験 (分養大助店 会社) 2 医療保険等 (分養大助店 会社) 2 医療保険等 (分養大助店 会社) 1 1 分類保険 (分養大助店 会社) 2 医療保険等 (分養大助店 会社) 2 日からに取り、会会前の定を収入 2 医療保険等 (分養大助店 会社) 2 日からに取り、会育して、企業の関係に関する法律を発展している。 3 分 法保険 (分養大助店 会社) (分養大助院 (分養大助院 会社) (分養大助院 (分養大助院 (分養大助院 (分養大助院 (分養大助院 (分養大助院 (分養大助院 (分		□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
(6) 診療費等 支払方法 (医療保険等)	(6) 診療費等支払方法	(6) 診療費等支払方法	おおまかな傾向が把握でき、記入者負 担軽減を図るため、選択肢を統合
. 16 生活保護法(医療扶助)	支払方法 該当するもの すべてに○印を つけてください。 2 医症保険等、 公費負担医療 なお、介護保険 サーレス利用者 で、医療候等 を公費負担医療 を作用している 場合は、それら の両方について 避保してください。 1 (公費負担医療 を作用している の両方について 避保してください。 1 (公費負担医療 1 (公費負担医療) 1 (公費負担医療)	文払方法   実当するもの すべてを選択してください。  2 医療保険等、公費負担医療- なお、介護保険サービス利用者 で、医療保険等 と公費負担医療 を併用している 場合は、それら の両方について 記入してください。  11 労働災害・公務災害 (介護扶助を含む)   2 医療保険に (介護扶助を含む)   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   12 自動車損害賠償保障法   13 その他   13 その他   10 不能な必能保険に   10 不能と、それらの両方について に入してください。   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   11 労働災害・公務災害   12 自動車損害賠償保障法   13 その他   13 その他   13 その他   14 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律   15 除害者自立支援法   15 除害者自立支援法	○「全国地球保険協会管等地球保険」、「健康保険組合」、「各種共済組合」→「健康保険組合」、「各種共済組合」 ○「追職者医療(本人」」、「退職者医療(家族)」→「退職者医療」 ※それぞれ選択肢の統合前の医療保険別数値・・保険局調査課「医療費の動向」で把握可。 正式名称ではわかりにくい選択肢について、一般的な略式名称に変更又は補足説明を追加 ○「高齢者医療(後期高齢者医療制度)」 「「高齢者医療(後期高齢者医療制度)」 「「高齢者医療、後期高齢者医療制度」 「「高齢者医療、後期高齢者医療制度」 「「高齢者医療、後期高齢者医療制度」 「「高齢者医療、後期高齢者医療制度」 「統書者自立支援法」→「「育成医療、更生医療、精神通院医療」」を追加

病院退院票		
新・23年調査(案)	旧・20年閥査	変更理由等
平成23年9月1日~30日	平成20年9月1日~30日	調査実施日の変更
(3) 患者の住所	(3) 患者の住所	○記入しやすいように選択肢の表記を 変更。
(3) 患者の住所  1 当院と同じ市区町村内 2 当院とは別の市区町村→ 都道  所県 本の住所が東京都区部又は政令指定都市(※)で、貴院の所在地と区が異なる場合は、「21を〇で囲み、区の名称まで記入してください。 (※)政令指定都市は、札幌市、他市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市をいいます。	(3) 患者の住所 1 病院と同じ市区町村内 2 病院とは別の市区町村→ 都道 市 区 町村	<ul><li>○回答の精度向上のため、注釈を追加 する。 調査事項に変更なし</li></ul>
(4) 過去の入院の有無  (4) 過去の入院 1 有 → 退院年月日 平成 年 月 日 2 無 日 過去の入院とは、主傷病(※)に関連した資院における入院であって、退院日が「(5)入院年月日」から遡って過去30日以内の場合に限ります。(退院年が平成の場合のみ。) (※)主傷病とは、「(7)受務の状況」の「(1)主傷病名」に記載する疾患をいいます。	新規	再入院の状況について、患者の動向 (入院前の場所、在院期間等)と併せて 把握した方が、地域特性に応じた医療 提供体制の整備等、医療行政への活用 により有効であるため、入院票から削除 し退院票に追加する。
(5) 入院年月日、(6) 退院年月日	(4) 入院: 追院年月日	○項目の分割
(5) 入院作月日 1 平成 年 月 日	(4) 入院·退院 年月日   大院年月日   1 平成 年月日   2 昭和   平成20年 9月 日	○講査時期に含わせ「平成23年」へ変更。 調査事項に変更なし。
(6) 迎院年月日 平成 23 年 9 月 日		



新・23年調査(案)	旧·20年調查	変更理由等
<ol> <li>精神病床</li> <li>療養病床(医療保険適用病床)</li> <li>感染症病床</li> <li>療養病床(介護保険適用病床)</li> <li>結核病床</li> <li>一般病床</li> </ol>	(9) 病床の種別       精神病床       1 老人性認知症疾患療養病棟       5 療養病床 (医療保険適用病床)         2 その他の精神病床       6 焼養病床 (介護保険適用病床)         3 感染症病床       7 一般病床         4 結核病床       4 結核病床	老人性認知症疾患療養病棟を有する施設の減少により、出現数が少ないことから「精神病床」として統合整理する。 ※老人性認知症疾患療養病棟・・・介護サービス施設・事業所調査で把握可。
	(10) 入陸前の場所	1 White ART of the Direct
家庭	(10) 入院前の 場所 家庭 【 1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 年世曜東は周は野・助用れ選等) 4 その他 】 5 他の病院・診療所に入院 6 介護老人保健施設に入所 7 介護老人福祉施設に入所 8 社会福祉施設に入所 9 その他(新生児・不明等)	入院前の場所→医療機関→転帰→退院後の行き先という流れを地理的にも詳細に地陸するため入院前の所在地を追加し、「医療提供体制の確保に関する基本方針」(平成19年3月30日告示)に基づく医療計画の策定のための基礎資料とする。
→ 1 当院と同じ市区町村内 2 当院とは別の市区町村→ 都道 市 区 府県 郡村 町村		
	(11) 救急の状況	○項目名の変更
教急の受診	(11) 数急の状況   救急車により搬送 2 救急外来を受診 3 診療時間外の受診 4 1 ~ 3 以外   (試当するもの すってを選択してください。	救急での来院か否か、また、救急である場合は来院の手段や時間帯等。来院時の状況を総合的に把握する調査項目であるため。 ○選択肢がおかりにくいため表現を変更「救急外来を受診」一「徒歩や自家用車等による救急の受診」
1 診療時間内の受診 2 診療時間外の受診		○回答方法の変更 重複回答では頻雑になり結果の精度 が落ちるため、来院の手段と時間帯を段 階的に回答するよう選択板を分ける。
	(13) 退院後の行き先	入院前の場所一医療機関一伝婦→退
「1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 年で (本の間に成・時間の表等) 4 その他 ] 他の病院・診療所に入院     「5 地域医療支援病院・特定機能病院 6 その他の病院 7 診療所 ]     8 介護老人保健施設に入所 9 介護老人福祉施設に入所 10 社会福祉施設に入所 11 その他 (不明等)     「「5」~「10」の場合は、その所在地について記入してください。)     当院とは別の市区町村内     当院とは別の市区町村 → 都道 府県 郡	(13) 退院後の 行き先 (1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 在で医せば間部を・訪問で達習 4 その他 ) 他の病院・診療所に入院 (5 地域医療支援病院・特定機能病院 6 その他の病院 7 診療所 ) 8 介護老人保健施設に入所 9 介護老人保祉施設に入所 10 社会福祉施設に入所 11 その他(不明等)	院後の行き先という流れを地型的にも詳細を把するため退院後の所在地を追加し、「医療提供体制の確保に関する基本方針」(平成19年3月30日告示)に基づく医療計画の策定のための基礎資料とする。
	1 精神病床 4 成業病尿(医類保険適用病尿) 2 感染症病床 5 成素病尿(介護保険適用病尿) 3 結核病尿 6 一般病床  1 当院に適除 2 他の病院・診療所に通能 3 (からいゆに周囲がめ、周間も異常) 4 その他 1 5 他の病院・診療所に入院 6 介護老人保健施設に入所 7 介護老人福祉施設に入所 8 社会福祉施設に入所 9 その他 (新生児・不明等)  ((「5」〜「8」の場合は、その所在地について記入してください。) 1 当院と同り市区町村内 2 当院とは別の市区町村 → 都道 市 原果 郡 町村 郎 町村 部 町村 2 当院とは別の市区町村 → 2 ※ 教急率により搬送 3 徒歩や自家用車等による救急の受診 「(「2」又は「3」の場合は、いずれかに〇印をつけてください。) 1 診療時間内の受診 2 診療時間外の受診 2 診療時間外の受診 1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 かどい歩に周に表・助問もあず) 4 その他 1 との で 記述 (「2」又は「3」の場合は、いずれかに〇印をつけてください。) 1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 かどい歩に助に表・助問もあず) 4 その他 1 との で 記述 (「2」又は「3」の場合は、いずれかに〇印をつけてください。) 1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 かどい歩に助に表・助問もあず) 4 その他 1 いた 2 を成 2 を成 3 を成 3 を成 3 を成 3 を成 3 を成 3 を成	1 株計規序 4 成業所収(保度除業前所務)   1 株計規序 4 成業所収(保度除業前所務)   1 株計規序 4 成業所収(保度除業前所務)   1 株計規序 5 便業所収(介資除業適用務例)   2 他当在前床 5 便業所収(介資除業適用務例)   2 他当在前床 6 一位前來

<u>ガメドン / ホ / ノ   ベニア / ボ   ア / ア / ア / ア / ア / ア / ア / ア / ア / ア</u>	旧·20年調査	変更理由等
平成23年9月1日~30日	平成20年9月1日~30日	調査実施日の変更
(3) 患者の住所	(3) 患者の住所	記入しやすいように選択肢の表記を変更。 調査事項に変更なし
(3) 患者の柱所 1 当院と同じ都道府県内 2 当院とは別の都道府県 → 都道 府県	(3) 患者の住所 1 診療所と同じ都道府県内 2 診療所とは別の都道府県 → 部道 府県	副重争型に変異なり
(4) 過去の入院の有無  1 有	新規	再入院の状況について、患者の動向 (入院前の場所、在院期間等)と併せて 把握した方が、地域特性に応じた医療 提供体制の整備等。医療行政への活用 により有効であるため、一般診療所薬か ら削除し退院薬に追加する。
(5) 入院年月日、(6) 退院年月日	(4) 入院・退院年月日	○項目の分割
(5) 入院年月日 1 平成 2 昭和 年 月 日 (6) 退院年月日 平成 23 年 9 月 日	(4) 入院· 退院 年月日	○調査時期に合わせ「平成23年」へ変更。 調査事項に変更なし。
(7) 受掠の状況  (7) 受掠の状況  (7) 受掠の状況  (1) というでは、 (1) をいうでは、 (1) をいうでは	(5) 受療の状況  (5) 受療の状況  (5) 受療の状況  (6) 受療の状況  (7) を始の型 (所について) を始の型 (所に対し) (所 動脈体の) (別 動脈を) (別 動脈病なし) (別 動脈病なし) (別 動脈病なし) (別 動脈を) (別 動脈病なし) (別 動脈疾患) (別 動脈疾患) (別 動脈疾病(性) 関膊症 (別 動脈疾患) (別 動脈を) (別 動脈・転塞) (別 動脈・転塞) (別 動脈・転塞) (別 の 動脈・転塞) (別 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	○肝疾患の状況の追加 肝炎対策基本法(平成22年1月施 行)に基づき、肝炎の総合対策を推進していく上で原因ウイルス別の患者数の把 提は重要であるが、現行の主傷病名の みでは把握できていないため。 ○外傷の原因 回答方法が異なると煩犠になり回答の 特度が落ちるため、他の調査項目と合 わせた回答方法へ変更。調査非項に変 更なし。 ○副傷病名 「糖尿病(性)網膜扉」一「糖尿病(性) 配合係に(主傷病名の分類に統一) 「糖尿病(性)足病変」(出現数が少ないため削除) 「03~05以外の合併症を伴う糖尿病」 「糖尿病(性)足病変」を削除したため 選択肢番号を変更) ○注釈を削除。 「精神疾患」について、前襟に整理。

